

成果の説明書

(氏名) 木暮律子	(学部) 地域政策学部
1 重要事項 【研究活動】 ①留学生対象のビジネス日本語教育に関する報告 本学におけるビジネス日本語教育の概要と「ビジネス日本語 I」の授業実践について論文にまとめ、受講生へのアンケート結果をもとに授業改善に向けた検討を行い、今後取り組むべき課題について述べた。(「学部留学生のためのビジネス日本語教育―「ビジネス日本語 I」の授業報告と受講生へのアンケートを中心に―」『地域政策研究』第 26 巻第 2・3 合併号 pp.1-18) ②グループワークの教育効果に関する調査 昨年度に引き続き、「異文化コミュニケーション」の講義において、異文化間協働のグループワークにおける学びや教育効果に関する調査を行った。 ③留学生の就職支援に向けた調査 ビジネス日本語科目を履修した 4 年生を対象に、就職活動に関する調査を実施し、留学生の就職支援に向けた基礎データを収集した。 【教育活動】 ①日本語教育カリキュラムの運営 留学生対象の日本語教育がスムーズに進められるよう、必修日本語科目のクラス分けを実施し、非常勤講師との連絡調整及び日本語科目 9 科目の統括を行った。 ②聴解授業におけるディクトグロスの実践 「専門聴解」の講義において、ニュース文を用いたディクトグロスの活動を行い、専門科目の講義の聴き取りやノートテイキング力を向上させられるよう指導を行った。 ③アクティブ・ラーニングの実践 「多文化共生論」及び「異文化コミュニケーション」の講義において、グループで行う課題を課し、学生間の交流を促すとともに、コミュニケーション能力の向上を図った。	
2 その他の事項 ・新入留学生に対するサポート：国際交流センター主催の留学生ガイダンスのなかで就学・生活指導を行い、留学生が日本の大学生活に適応できるよう支援を行った。 ・日本語部会の実施：日本語科目を担当する非常勤講師とともに日本語部会を開催し、カリキュラムの検討や授業の振り返り、次年度に向けた課題の共有を行った。 ・ラジオ高崎「ラジオゼミナール」出演 (2024 年 1 月 12 日・19 日放送)：「留学生の日本語教育」と「やさしい日本語によるコミュニケーション」について解説した。	
3 次年度以降の計画・抱負 次年度は、今年度収集したグループワークに関する分析を行い、論文を執筆するとともに、留学生の就職活動の体験談をまとめ、報告集の作成に向けた準備を進めていきたい。また、留学生対象の日本語授業において、ピア・ラーニングやディクトグロス等の活動を積極的に取り入れ、学生同士の学び合いを促進し、教育効果の高い授業を構築できるよう、引き続き授業改善に取り組んでいきたい。	